

Establishing a New Global Standard from ASIA

h.D. Study Room



INTERNATIONAL
UNIVERSITY OF JAPAN



世界の多様性を理解し、世界の多様性を促す人材の育成

国際大学(IUJ)は、1982年に日本初の大学院大学として誕生しました。開学当初から、すべての授業を英語で行い、9月入学制を導入し、原則として全寮制にて、世界に門戸を開いてきました。学生の約85%が外国人留学生であり、日本人学生が多数派の環境ではないというのは、本学の特徴の一つです。この35年間で、116の国と地域、約4,000人の修了生を輩出してきました。

新潟県南魚沼市は、自然豊かな環境ながらも東京へのアクセスもしやすく、世界中から学問を探究しようとする若人と優れた教員が集うのに理想的な場所です。学生はキャン

パス内の寮にて、国籍、男女の別なく自由な雰囲気の中で2年間を過ごします。教室内では互いに切磋琢磨し、週末はラウンジなどで夜遅くまで交流することで、修了後も継続する世界的なネットワークが構築されるのです。

これからの世界は、多文化が共存するものとなります。国際大学が今日まで培ってきたグローバル・リーダー育成のための手法は、キャンパス内での多文化共生にほかなりません。国際大学は、35年間の実績を基に、多様性を理解し、多様性を促す人材を育成することによって、世界に貢献する大学となります。

アジアのグローバル・スタンダードを世界標準へ

2014年9月、国際大学は、文部科学省が公募した「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されました。同事業には、全国の国公立大学から104校109件の申請があり、37件が採択されています。本学はこれまでの実績を基に、さらに先導的試行に挑戦し、日本社会全体のグローバル化を牽引します。



スーパーグローバル大学創成支援

スーパーグローバル大学創成支援とは

文部科学省による重点政策の一つで、選定した構想への重点的な支援を行い、大学の国際通用性や国際競争力の強化を図るものです。

経済社会のグローバル化が進む中、日本が今後も世界に伍して発展していくためには、多様な場でグローバルに活躍できる人材の育成が不可欠です。

スーパーグローバル大学創成支援に採択された大学は、各大学の理念等に基づき、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取り組みや、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化などの構想を立て、成果指標と達成目標を掲げています。

TOP GLOBAL

建学の精神

高度に専門的且つ学際的学識を具備し、それを国際場裡で実践活用し得る人材を育成する

人材育成像

1

グローバル化が進む現代社会に求められる新しいタイプのリーダーになろうと努力する人

2

目まぐるしく変わる世界を長期的視点で観察し、グローバル、ローカル両方の観点から多様性を尊重できる人

3

我々が直面する課題の解決に向けて、困難な決断を下す勇気とその決断を実行に移す強い意志力を持つ人

4

さまざまな異なる分野、国、職業の人たちとつながりを持ち、共により良い未来を目指して協力していける人

スーパーグローバル大学創成支援 採択大学

タイプA: トップ型(13大学)

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学、九州大学、慶應義塾大学、早稲田大学

タイプB: グローバル化牽引型(24大学)

千葉大学、東京外国語大学、東京芸術大学、長岡技術科学大学、金沢大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、奈良先端科学技術大学院大学、岡山大学、熊本大学、国際教養大学、会津大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、東洋大学、法政大学、明治大学、立教大学、創価大学、**国際大学**、立命館大学、関西学院大学、立命館アジア太平洋大学

各種日本語教育教材の開発



日本語教育アプリケーション「がんばってシャドーイング」をリリースしました。2015年にリリースした「がんばってかな」と併せて日本語クラスへの導入を開始し、e-learningと対面型授業を組み合わせたブレンディッド教育を提供しています。これらを用いて、日本企業が求めている日本語及び日本的ビジネスの運用・実行力を含めた、実践的な日本語教育に取り組んでいきます。

講義情報の公開



高等教育機関が蓄積している知を社会に還元し、国際通用性を高めることを目的として、オープンコースウェアにて講義情報を公開しました。併せて、本学入学希望者に対し、実際の講義を体験・視聴し、教育水準の比較をする機会を提供することで、日本人学生数の増加、優秀な留学生の獲得に繋げていくことが可能となりました。今後は全科目の50%を目標に公開講義数の拡充に努めていきます。

ガーナ大学と大学間協定を締結



アフリカ地域に所在する高等教育機関と初となる大学間協定を締結しました。本学には、アフリカからの留学生が80名在籍しており（2017年3月現在）、加えて、既に約200名の修了生を輩出しています。アフリカ諸国では強固な修了生ネットワークが構築されており、今後は本学独自のこのネットワークを活用し、アフリカにおける協定校数を増加させ、積極的に学術的交流を推進していきます。

アフリカへの戦略的展開



「日本・アフリカ大学連携ネットワーク(JAAN)」での活動や現地への訪問を通して、アフリカ諸国での基盤づくりに取り組んでいます。アフリカに所在する日本公館及び日本企業とのネットワーク強化と同時に、現地教育機関との交流を推進することで、日本企業と現地の人材を結ぶ架け橋となります。本学は日本経済界が注目するアフリカを重点地域とし、先見性をもって人材育成に挑戦します。

大学の特性を踏まえた取り組み

スーパーグローバル大学創成支援での国際大学の取り組みは、大きく4つあります。
全学を挙げてこれらを実現することにより、国際大学の教育・研究体制をさらに高め、
地球規模課題の解決や未来の創造に貢献し、グローバルに活躍する人材を育成します。

即戦力となるグローバル・リーダーの輩出

アジアへの日本人学生送り出し

国際性豊かな環境はキャンパス内だけでなく、4,000人の修了生ネットワークに展開され、116カ国・地域に根付いています。これは2年間の全寮制の生活によって培われるものであり、欧米諸国の高等教育機関でも類を見ません。

今後もこの国際的なネットワークを十分に活用して、東南アジアを中心としたダブル・ディグリー・プログラムを充実させるため、ベトナムに続き、ミャンマーに海外拠点を設立します。全寮制によって強い母校愛を持った修了生たちは、各国で優秀な官僚、経営者、研究者となり、このダブル・ディグリー・プログラムを支え、

海外拠点の展開をサポートします。これにより持続可能性と展開性の高さが担保され、今後、海外拠点を設立していく国内大学にとって、先導的モデルとなるでしょう。

インドネシアでは2006年からダブル・ディグリー・プログラムを始めており、修了生は既に200人に上っています。インドネシアに加えて、強固な教員間ネットワークを構築しているベトナム、スリランカ、ミャンマーにおいて、同プログラムの導入を実現していきます。

	2013年度	2016年度	2019年度	2023年度
1 インターンシップ参加者数	0人	28人	28人	28人
2 ボランティア参加者数	0人	15人	15人	15人
3 ダブル・ディグリー・プログラム履修者数	0人	6人	10人	12人



日本企業の海外進出支援

教育的側面からの日本企業支援

2014年に新設した言語教育研究センターでは、日本を代表する56社のグローバル人材パートナーシップ締結企業と連携して、アジア諸国でビジネスを展開する日本企業が求めている日本語や日本的ビジネスの運用・実行力を含めた、実践的な日本語教育を提供していきます。

修了生ネットワークを駆使して、まずミャンマーにて現地の専門学校と共同で日本語通信教育構想をパイロット的につくりました。開始から5年目にはベトナム、カンボジア、ラオスでも展開する計画です。修了生から協力を得て、日本語や日本的ビジネスのテキ

ストを現地語に翻訳し、各国で産学協働を実現していきます。

この日本語プログラムは現地に展開している日本企業との連携を計画しており、現地教育プログラムの中に日本企業でのインターンシップ制度も組み入れます。これにより、現地日本企業との現地の優秀な人材の交流の場を提供することにもなります。

さらに、現地の優秀な人材にとっては、勉強への強いインセンティブと実践的な教育の場になります。また即戦力を求める日本企業にとっても、現地での優秀な人材を確保する機会になります。

	2013年度	2016年度	2019年度	2023年度
1 ビジネス日本語受講者数	0人	100人	300人	500人
2 全受講者数に占める修了者の割合	0%	50%	60%	70%
3 修了者が現地日本企業へ就職した数	3人	20人	20人	25人



APPROACH

アフリカ諸国での人材ネットワークの構築

アフリカでの基盤づくり

国際大学は日本を代表する56社とグローバル人材パートナーシップを締結しています。今後もこの連携を深め、日本の経済界が次のビジネス展開の場として注目するアフリカで、「アジアの次」として重点的に展開していきます。

アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）に代表される国家的な人材育成事業も、新たに日本企業支援などの性格を色濃く打ち出し、従来のような単なる発展途上国での人材育成という視点だけではなくなっています。こうした状況を踏まえ、国際大学も先見性を持ってアフリカでの人材育

成に挑戦します。

今後10年では、既にアジアで確立されている大学のブランド力をアフリカでも構築し、日本経済を教育分野から強力に支援します。既に50人以上の修了生を輩出しているガーナを中心に、180人以上の修了生ネットワークが構築されています。

アジアと同じく、修了生の多くは現地の現役エリート官僚や、名門大学で教壇に立つ教員です。この質の高い修了生ネットワークを背景に、今後は日本にとっても重要な拠点になるという視点に立ち、戦略的な展開を進めていきます。

	2013年度	2016年度	2019年度	2023年度
1 アフリカ協定校数	0校	3校	5校	5校
2 アフリカで開催する大学説明会の参加者数	0人	150人	250人	400人
3 アフリカからの留学生	9人	15人	25人	40人



国際協力人材育成プログラムの拡充

国際公務員へのキャリアパス

2012年から、大学間連携共同教育推進事業「国際協力人材育成プログラム」を、明治大学、立教大学とスタートさせました。これは、両大学の学部生に向けて、すべて英語により展開する共同教育プログラムであり、国際協力・国際公務分野を目指す人材を育成するものです。国際大学は、国際協力に関する教育資源を提供し、大学院生もファシリテーターとして授業に参加しています。

国際大学は、2015年9月、国際関係学研究科国際関係学専攻に博士後期課程を設置しました。これにより、さらに高度な学問的教育環境を提供し、欧米型の最先端の教育・研究を前提としつつ、

アジアを題材とした「知の拠点」を確立します。

2017年以降、これらを組み合わせ、学士・修士・博士課程を一貫させた「国際協力人材育成プロフェッショナル・スクール」構想を立ち上げます。海外拠点を利用した単位科目プログラムを含め、国際社会が取り組むべき地球規模課題に対応、解決するための知識と能力といったグローバルマインドを身に付け、高い専門性を持つキャリアを形成し、国際連合を含む、国際機関、NGO、NPO、政府などにおいて活躍する人材を輩出します。

- 1 文部科学省大学間連携共同教育推進事業選定(2012年度)
- 2 国際関係学研究科博士後期課程設置(2015年度)
- 3 国際協力人材育成プロフェッショナル・スクール構想(2017年度)



平成24年度文部科学省選定「大学間連携共同教育推進事業」
国際協力人材育成プログラム
Human Resource Development Program for International Cooperation



スーパーグローバル大学推進室

〒949-7277 新潟県南魚沼市国際町777番地
TEL: 025-779-1489 FAX: 025-779-1460
E-MAIL: sgu@iuj.ac.jp